

十日町地域 稲作生育速報（令和8年7月27日）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

○出穂期が平年より早まっています。穂肥や防除の日程を再確認しましょう。

○後期栄養を確保するため、

- ① 2回目穂肥を施用していない場合は、必ず施用しましょう。
- ② 2回目穂肥を施用しても葉色が淡い場合は、3回目穂肥を施用しましょう。
- ③ 全量基肥肥料でも、葉色が淡い場合は、追肥しましょう。

【コシヒカリの生育状況】 ≪生育データ（7月27日現在）※（ ）内は指標値比・差≫

調査地点	田植日	葉色 (SPAD)	幼穂形成期	出穂期	備考
十日町(小黒沢) 標高 150m	5/13 (稚苗)	35.5 (+2.0)	7/6 (平年差-3)	7/27 (平年差-4)	穂肥①：7/11 (N1.4kg/10a) 穂肥②：7/20 (N1.4kg/10a)
川西(上野) 標高 170m	5/17 (稚苗)	33.0 (-0.5)	7/10 (平年差-2)	7/30 頃 (平年差-4)	穂肥①：7/15 (N1.0kg/10a) 穂肥②：7/22 (N1.5kg/10a)
松之山(兎口) 標高 430m	5/26 (中苗)	33.8 (-3.2)	7/13 (平年差-4)	8/5 頃 (平年差-3)	穂肥①：無し 穂肥②：7/24 (N1.2kg/10a)
津南(米原) 標高 450m	5/27 (中苗)	33.8 (-0.2)	7/14 (平年差-3)	8/7 頃 (平年差-1)	全量基肥体系

【気象予報】 北陸地方の1か月予報（新潟地方気象台7月23日発表）

気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

【穂肥の施用】 穂肥施用や病虫害防除の詳細は「稲作情報 No. 4」を御覧ください。

1 2回目穂肥（分施体系）

- ・高温が予想されているため、窒素成分 1.0～1.5kg/10a を確実に施用し、後期栄養を確保しましょう。走り穂が見えた状態で穂肥を施用しても食味の影響は少ないため、施用が遅れた場合も確実に施用しましょう。

2 3回目穂肥（分施体系）

- ・2回目の施用後も葉色が淡い場合は、窒素成分 1.0kg/10a を上限に追肥しましょう。
- ・施用のめやす：化学肥料体系では、出穂期3日前の SPAD 値が 31 以下
有機質入肥料体系では、出穂期6日前の SPAD 値が 33 以下

3 全量基肥肥料の追肥

- ・全量基肥肥料でも、葉色が急激に低下し、出穂期の SPAD 値が 32～33 を下回ると予想される場合は、出穂期3日前までに窒素成分 1.0kg/10a を上限に追肥しましょう。
- ・特に、有機 50%入り全量基肥肥料は、葉色がさめやすいので注意しましょう。

【病虫害防除】

- ・出穂期が早まっているため、可能な方は、斑点米カメムシ類の防除時期を早めましょう。

十日町農業普及指導センター（作物担当）

TEL 025-757-5516・6061

HP http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html



←LINE 水稻情報は
こちらから

こまめな休憩と水分補給で
熱中症を予防しましょう！